たんざか  
谷坂の怪

昭和35年ごろのことでした。

「先生、谷坂は夕方になるとおじもんが出るげなよ。お墓の下を通る時は頭の上から土や砂がばらばら落ちてくるげなよ」

とのこと。関係の女生徒を呼んで聞いてみた。

「この前、私たちが課外がすんで帰るときは、もう薄暗くなっていました。友だちが1人少しおくれに来てよったので、待ちながらそろそろ歩いていたので。お墓の下を通る時、頭の上から土や砂がばらばら落ちてくるので、ギョツとなって顔を見合わせ、ひょいと後から来る友だちを見ると、友だちは髪の毛が針金のようになって、じゃーんと上向きに逆立ちしているではありませんか。私たちは『キヤーツ』といって坂を走って逃げ、少し先の曲り角でまっています。友だちは泣き泣き追いついて来ました。その時は髪の毛はいつもの通りのおかっぱでした。

「おじかったね、あんたの髪の毛はじゃーんと逆立ちしちゃったがね」

といいながら、走って帰りました」

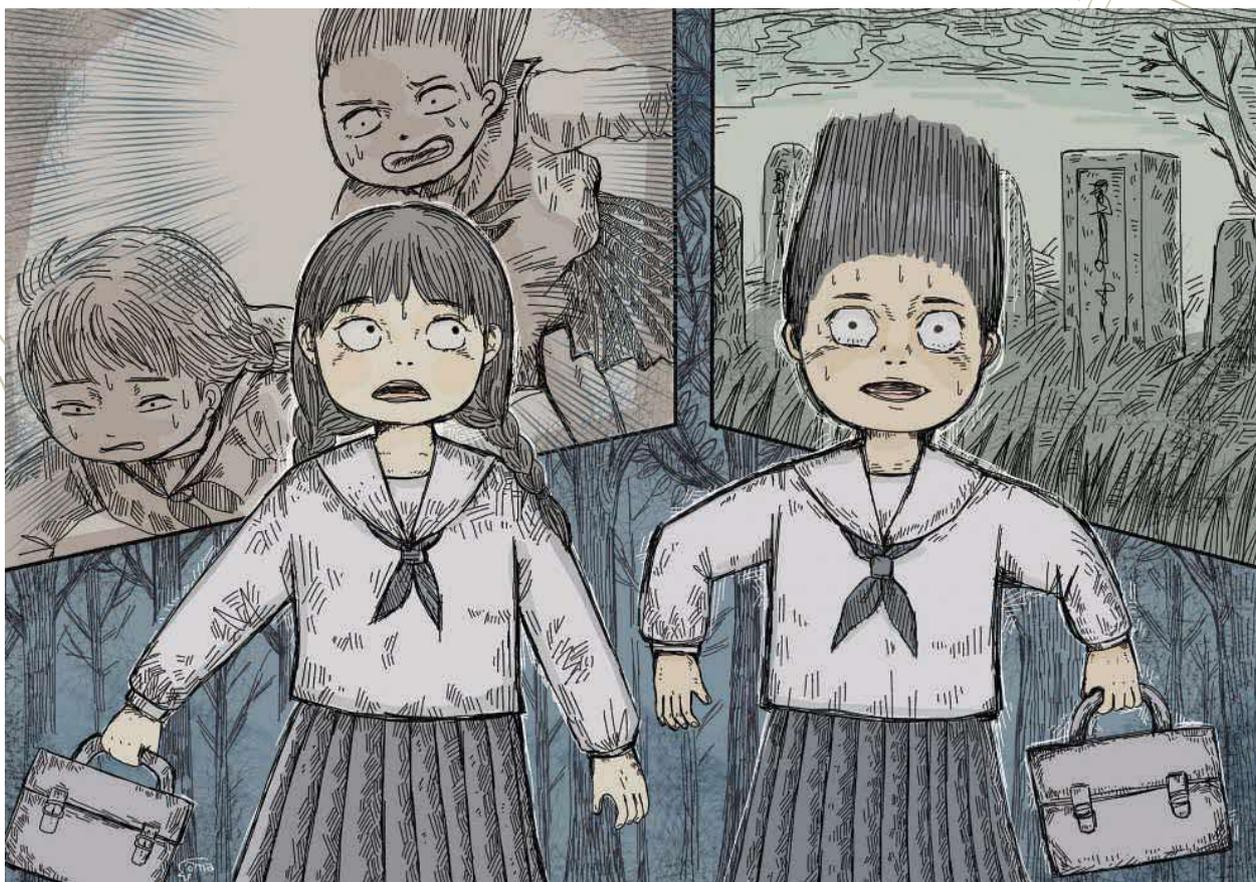
「先生、課外が遅くまでであると、谷坂へんなもう暗くなるよ」

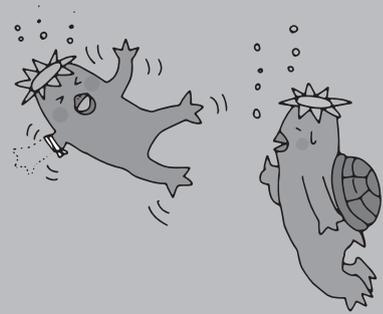
よく聞いてみると、これは問題でした。先生方と相談して、この対策を進めました。

この頃富田小学校でも、追分に帰る女生徒が、何回も恐ろしい目にあったださうな。

(採話：家床地区 永友千秋)

うしろ





# かつばの手



鳴野の地域に水神様が祀<sup>ま</sup>られています。杜は小さいのですが水神様の神木で樹齢が千年近くにもなる松の木でした。大きな枝を四方にのばしてそれは見事な松でしたが、その松の木のすぐ下は、水面が青々として深さが15〜16mもある広々とした川になっていました。当時、鳴野には千石船が10艘もいたのですが、その船が結構入港するだけの広さでした。



昔は「かつばがたくさん住んでいて、人がいなくなる夕方頃になると」かつばがぞろぞろと水神様の杜の前の庭に集まって、何やらしきりに評議をしていたと伝えられています。ところがある日のこと、鳴野の

黒木直吉さんが馬をひいて水神様の下の川へ馬洗いにいきました。(その頃は鳴野地域には馬が多く、一軒の家に馬が3頭から4頭も飼われていて、主に運搬用とされて

いました。)直吉さんが馬を川に連れ冷たい水でゴシゴシと洗ってやると、馬はいかにも気持ちよさそうに立っていました。やがて洗い終わるのを待っていたかのよう、何を思ったのか突然に川の深いほうへザブザブと泳いでいったのです。

ところがややしばらくして、何か口にくわえてあがってきました。よく見ると馬が口にくわえているのは、「かつばの手らしいのです。直吉さんはびっくり仰天しましたが、これは珍しいものが手に入ったと、家に持って帰り皆に見せました。ところが見た者は気味悪がって、罪(ばち)があたるといかにいうので、相談の末「ウトノヤマ」へ丁寧に埋葬しました。

「かつばの手を埋めた「ウトノヤマ」は樹齢600年程の太い大木が密生していて、昼も暗い気味の悪い場所。そこで「ナベノフタ」が下がる(おぼけが出る)こと



といわれ、村人達が怖がっていた人通りの少ない場所でした。ところがその晩のことです。「かつばが直吉さんの家の庭にやって来て、

「昼間、川の淵から持って帰った私の手を返してください。あれがないと川の中で泳ぐことができません。どうか、お願いします」

と繰り返して頼みました。直吉さんはたかをくくって知らん顔をしていました。しかし翌日も、そのまた次の晩も、毎晩、毎晩「かつばは直吉さんに頼みに来るのです。直吉さんは「かつばのことはいえかわいそうに思い、手を埋めた所と、埋めた様子を詳しく話してやりました。

「かつばは大変喜んで何度も何度も御礼をいながら山の方へ去っていきました。そして、その次の日からは二度と現われることはなかったといえます。そこで直吉さんは水神様にお参りして、今までの事を告げて意地悪したことも詫び、水神様のお祭りを盛大にしました。お陰でその後直吉さんは元気で豊かに暮らしたといえます。



たといいます。

丁度その時から直吉さんの家が代々、水神様の祭りの時にはしめ縄を立派に造り、奉納するようになりました。その習わしが現在も続いている、直吉さんの家が毎年水神様のお祭には立派なしめ縄を奉納されています。

水神様のお祭りは、村中全員が集まってお祭りをします。祭りの時には笠を作って奉納しますが、その笠を子供がかぶると病気になるから、立派に成長すると言うので子供は争ってその帽子をかぶります。

又、若者が昔から伝わっている棒踊りを奉納します。こうしたことで祭りには大勢の見物人がおしかけて大変な賑わいとなります。昔から水神様は郷土の守り神として敬われ、病気の平癒や願い事をする場合は、水神様の庭に食物等を持ち寄って賑やかにお祭りをしたのです。

(採話：鳴野地区 森伸吉)

